

埼玉工業大学 秋桜祭で自衛隊をPR



埼玉地方協力本部（本部長 山口英章一等空佐）は、熊谷地域事務所（所長 大谷直之一等陸尉）担当により十月十二日（日）、埼玉工業大学の学園祭「第三十八回秋桜祭」において海上自衛隊横須賀地方総監部移動広報の支援をいただき、募集広報を実施した。

当日は約一万人を超える来場者があり、「ピンゴ」大会や男子学生による「男の娘コンテスト」「ねぎ焼きでギネスに挑戦」「FM放送NACK5の現地生放送」など盛りだくさんのイベントで大いに盛り上がった学園祭であった。

広報活動は、海上自衛隊の広報ブースにおいて南極の氷や石、護衛艦の模型、活動パネル等の展示及びロープワーク教室等、大盛況であった。

埼玉地本の広報ブースにおいては、各種募集パンフレットや募集資料の配布、陸海空自衛隊の活動写真パネルの展示、ミニ制服等の試着及び戦闘装着セットの装着体験コーナーなど、子供から大人まで幅広い年齢層の方々が自衛隊の広報ブースで足を止め、広報官の説明に熱心に耳を傾ける姿が多く見られた。

埼玉地方協力本部は、今後も地域に密着し自衛隊の活動に関心を持っていただき、防衛基盤の拡充に努めていきたいと考えている。

海上自衛隊東京音楽隊第五十回定例演奏会を支援



埼玉地方協力本部（本部長 山口英章一等空佐）は、埼玉県防衛大学校父兄会、防衛医科大学校埼玉父母会のご協力により十月十二日（日）、所沢市民文化センターミューズアークホールにて海上自衛隊東京音楽隊の定例演奏会を支援した。

今回五十回を迎える定例演奏会には、インターネット及び往復はがきで、たくさんの方にご応募いただき、当日は厳正な抽選に当選された方、約千五百名のご来場があった。演奏会はテンポの良い「ベルギー落下傘兵行進曲」から始まり、海自の歌姫三宅三曹の透きとおった歌声の「祈り」や東京音楽隊サクソフォン・セクションの力強く、甘い切ないサクソフォンの演奏をお楽しみいただいた。

演奏後には「素晴らしい演奏でした」との賞賛の声がたくさん聞かれた。また、自衛隊に対するアンケートにも多くのご協力をいただき、今回の演奏会は大成功であった。今回の支援にあたりサイポン「うみ」と「そら」も参加し、子供達とのふれあいや、写真撮影に応じる等、音楽会を盛り上げた。

また、演奏会終了後には三宅三曹と記念撮影し、サイポンにとっても楽しい時間を過ごすことができた。

埼玉地本は、今後も埼玉県内のイベントに積極的に参加し、自衛隊への理解促進に尽力する所存である。